

公共施設等の老朽化対策は

総合的・計画的な管理に関する 基本方針を策定する



長崎 厚 議員

長崎 スポーツセンターや福祉センターなど、公共施設の老朽化対策が全国で大きな課題となっており、厳しい財政状況の続くなか、公共施設全体の状況を把握し、長期的な視点により更新、統廃合、長寿命化等を計画的に行い、財政負担の軽減、平準化をし、公共施設等の最適な配置が必要であると国が求めている。

この事を踏まえ、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画「公共施設等総合管理計画」を策定し国へ提出しなければならない。

また、各地域会館の今後の扱いについて住民も大きな関心を持っており、計画の進捗状況、概略などを伺う。

町長 本町における公共施設や道路・橋りょう等インフラ施設についても、老朽化対策等が大きな課題であり、本年度か

ら公共施設等総合管理計画の策定を進めている。

本年度は、公共施設等のデータベース化や、更新費用の推計と施設のライフサイクルコストの予測、人口推計等による施設利用数の推計や財政推計を実施し、総合的な整理・分析による公共施設・インフラに関する現状報告書（白書）を作成する予定となっており、現在は公共施設等の洗い出し作業が完了し、コストの推計等を行っている段階である。

来年度は、現在作成中の白書に基づき、公共施設等の現状や課題を客観的に把握・分析するため、公共施設等の管理に関する基本方針の検討や、町民・職員アンケート等を実施し、各地域会館のあり方を含め、本町における公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針を策定する。

長崎 公共施設等の洗い出し作業は既に完了しているとの事だが、内容など示せるものはあるか。

総務課長 公共施設等総合管理計画は、来年3月22日を期限として委託事業を進めている。

結果がまとまり次第、議会に報告する。

長崎 計画作成にあたり、国による事前審査はあるのか。あるとしたら期日までに間に合うのか。

総務課長 国の事前審査は特にならない。

本年度作成される白書により全体状況を把握し、それに基づき新年度は類型別の計画等を策定しながら、今後進めるべき町の全体像の取りまとめをする。

長崎 公共施設等総合管理計画とインフラ長寿命化計画は、別々に計画



老朽化が進む公共施設

策定しなければならないのか。

総務課長 流れとしては、一番上に公共施設等総合管理計画があり、その下に橋梁の長寿命化計画などの個別計画がある。

長崎 この計画は10年20年など、どのくらいのスパンで計画の結果を出すのか。

総務課長 国からは、少なくとも10年以上のスパンを考えた計画を策定するよう指導がある。

長万部町の財産である

温泉による活性化を

この事業は町が事業主体となれない

長崎 平成27年3月、

長万部温泉60周年記念事業で、日本で初めて温泉学の分野を切り開いた第一人者であり、文学博士、医学博士としても活躍している松田忠徳札幌国際大学教授の講演が行われ、木幡町長はじめ道内外の方々が出席された。

教授は、温泉の科学的価値はその還元力にあるとしており、予防医学を



長万部温泉発祥之地記念碑

通じて温泉街や商店街の新たな活性化を願う自治体からの要請で、週に2回3ヶ月のあいだ温泉に入浴し、その還元力を検証する事業等を実施している。その事業には国の補助金もあり、道内外で実施されている。

長万部温泉を活用しながら、商店街の活性化と観光振興など、新幹線を核としたまちづくり対策

の集客手段としても、経済効果を望める有効な政策と思うが、町長の考えを伺う。

町長 松田先生の講演

では、「源泉かけ流し」による長万部温泉の還元力が、非常にレベルの高いものであり、予防医学の視点からも非常に優れていることから、温泉資源を活用して地域の健康度を向上することにより、長万部温泉の信頼が高まり、地元の商工観光振興に繋がるという趣旨のお話があり、長万部温泉の効能のすばらしさを改めて認識した。

還元力を検証する事業等については、寿都町でのモニター調査による実証報告もあったが、この

事業は、全国商工会連合会が公募する「小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業」であり、

地域の小規模事業者が、地域資源を活用して新たな特産品開発や観光開発を行う取り組みなどを総合的に支援するもので、商工会が実施機関でなければ補助は受けられない。長万部町が事業主体となつての実施はできないので、長万部温泉街の活性化や集客効果を高めるためにも、長万部温泉利用協同組合が積極的な役割を担って、長万部温泉利用協同組合の事務局であり、実施機関となる長万部商工会と相談・協議していただき、実施の可能性について検討していただきたい。

長崎 長万部町も商工

会や長万部温泉利用組合と協力し、この事業を牽引すれば、活性化すると思う。積極的に町からも

進言助言などしていただきたいと思うが。

町長 松田先生からは、

全国26箇所ある掛け流し温泉指定を長万部町も取られたらどうかと言われた。また、この効能素晴らしい資源は町民に還元した方がいいとの進言もいただいたので、敬老会の挨拶などで、ぜひ長万部温泉に入つて長生きをしてほしい、1週間に2回ほど長万部温泉に入ると、予防医学の見地からも素晴らしい温泉であると伝えていく。

温泉利用組合が一丸となりこの事業を推奨するのであれば、事業主体となる商工会が前向きに進めてほしい。事業主体がその意識を持ち、事業を遂行していくという基本姿勢がなければ、協力できるような態勢にはならないので、温泉利用組合と商工会で十分話し合っていたいただきたい。